

# そよ風

vol.44 平成28年3月25日

●発行/庄原赤十字病院 庄原市西本町二丁目7番10号 tel.0824-72-3111 ●編集責任者/木曾伸浩

## 基本理念

庄原赤十字病院は、人道・博愛・奉仕の赤十字精神にのっとり、地域の皆様方の健康・医療・福祉を職員一丸となっておまもりいたします。

ご自由にお持ち帰りください!!

## 地域医療実習 (2月22日~23日)



北海道に次いで全国2番目に無医地区の多い広島県において、その半数以上を抱える県北部の医療格差の是正を目指し、当院では、昭和56年からへき地診療を行っています。

近年では、高齢化や過疎化が進み、診療所に行くことさえ難しくなった患者さまの負担を軽減するため、東城町帝釈地区にて週2回、移動診療車で巡回診療を行っています。このことに着目した広島国際大学の薬学生7名が、2月22日~23日の2日間にわたりへき地医療の実態を学びました。薬剤部の見学に始まり、移動診療車に同行し病院スタッフと一緒に患者さまへの聞き取りを行うなど医療に関するニーズや課題の調査を行いました。



私たちは、忘れない。  
Forever remembered.

## 「わたしたちは、忘れない。」 東日本大震災復興支援プロジェクト (3月1日~)



東北地方を中心に広域、甚大な被害を及ぼした東日本大震災から本年3月11日で5年を迎えました。日本赤十字社では、発災直後の医療救護活動に始まる緊急支援から、現在も継続している復興支援事業まで幅広い活動をしてきました。このたび、震災から5年という節目の年を迎えたことから、全国規模でのプロジェクトを実施しました。

当院においても、実際に現地で活動した当院救護班の様子を1階ロビーにてパネル展示しました。本プロジェクトを通じて、震災の風化を防止し、国民の助け合い・防災、減災意識を向上していきたいと考えています。



### 患者さまの権利

患者さまには以下の権利があります。私たち、庄原赤十字病院の職員は、このことを十分尊重した医療に努めます。

- 一、だれもが、良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
- 二、思いやりのある、個人の尊厳が守られる医療を受ける権利があります。
- 三、治療に際し、わかりやすい説明を理解できるまで受け、治療法を選択あるいは拒否する権利があります。
- 四、診断や治療に関して、別の医師の意見を聞く権利(セカンドオピニオン)があります。
- 五、個人のプライバシーが守られる権利があります。
- 六、自分の診療情報の開示を求める権利があります。
- 七、健康に関する指導や情報提供を受ける権利があります。



# 地域のために、地域と共に

連携医療機関紹介 vol.05



地域の医療機関は、ともに地域の皆さまの健康を支えてくださる心強いパートナー。このコーナーでは日頃から当院と連携をとっている医療機関を紹介します！  
※五十音順で掲載

## 連携医院のご紹介



### 庄原市 高野診療所

内科・外科

〒727-0402  
庄原市高野町新市1150-1  
電話/0824-86-3066  
FAX/0824-86-3090



院長 山崎 力先生

### 診療時間

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
午後 15:00~18:00	○	○	○	△	△	△

※休診…木曜・土曜日の午後、日曜日、祝祭日

平成17年から高野町の「庄原市高野診療所」で診療させて頂いています。元々、高野町の出身です。

地元に戻るまでは県内の病院で消化器・心臓・小児の外科で勤務していました。今までの臨床で経験してきたことを生かしながら、庄原赤十字病院等の医療機関の専門科と連携して、何でも相談して頂ける診療所を目指してこれからも地域の地域医療に携わっていきたく考えています。



### 庄原市立 西城市民病院

内科・外科・整形外科  
婦人科・脳神経外科  
歯科・放射線科  
リハビリテーション科

〒729-5742  
庄原市西城中野1339  
電話/0824-82-2611  
FAX/0824-82-2012



院長 郷力 和明先生

西城市民病院基本理念のスローガンである「市民の皆さまが安心して暮らせ心の支えとなる病院に」の実現を目指し、平成20年度に「庄原市西城市民病院経営改革プラン」10年計画を策定して、地域包括医療・ケアの推進のため、地域包括ケア病床の設置、巡回診療の開設、訪問診療・訪問看護の充実、看護体制の改善（看護配置基準の13:1への引上げ）、介護予防や健診事業の充実、情報発信（出前講座等）の充実など、目標達成のための取組みを進めております。

医療部門での外来・入院診療のほか、保健部門として人間ドックや脳ドック、集団健診等各種健診を実施し、健康をサポートしています。介護事業部門では、訪問系（訪問診療、訪問看護、訪問リハ）や通所系（通所リハ、デイサービス）サービス、介護老人保健施設「せせらぎ」、介護支援（居宅介護支援事業所、老人介護支援センター）体制を整え、住民の方々の安心を支えています。

地域の皆さまから愛される自治体病院であり続けるために、全職員一丸となって頑張ります。

### 診療時間

	月	火	水	木	金
内科	午前(1診) 8:50~12:00	吉光	郷力	吉光	郷力
	午前(2診) 8:50~12:00	田中	広島大学	田中	吉光
物忘れ外来 (完全予約制)	午後 13:30~17:00			淀川	郷力
外科	午前 9:00~12:00	武田	武田	武田	武田
	午後 15:00~17:00		武田		武田
整形外科	午前 9:00~12:00	本山	本山	本山	本山
	午後 15:00~17:00		本山		長谷川
婦人科 (週2・4診療のみ)	午後 13:30~15:00			村尾	
脳神経外科 (週1診療のみ)	午後 14:00~17:00				荒木
歯科(予約)	午前 8:50~12:00	柴田	柴田	柴田	柴田
	午後 13:30~17:00	菅岡	菅岡	菅岡	菅岡



## 連携医院のご紹介



### 医療法人ながえ会 庄原同仁病院

内科・皮膚科・婦人科

〒727-0203  
庄原市川北町890-1  
電話/0824-72-7300  
FAX/0824-72-7333



院長 村尾 文規先生

### 診療時間

	月	火	水	木	金
午前 9:00~12:00	○	○	○	△	○
午後 14:00~17:00	○	○	○	△	○

※休診…木曜日、土曜日、日曜日、祝祭日

笑顔、優しい言葉、穏やかな心をキーワードとして、「安らぎの空間」醸成を目指す。

『仁愛の精神をもって心の通う医療の実践に努める』という理念を掲げている。ほとんどの方々が当院を終の棲家として入院される。責任重大である。理念を実践するためには「なぜ働くか」という永遠の課題に直面する。課題とは、あるべき姿を思い描いて現実をそこに向かって変えていくことである。私たちの仕事は日々修行、まず、職員が相互の勤労に感謝する気持ちを養うことが大切である。人は皆、唯一無二の存在なのだから。



### 医療法人社団千手会 瀬尾医院

内科・消化器科

〒729-5121  
庄原市東城町川東163-7  
電話/08477-2-0023  
FAX/08477-2-3950



院長 細川 鎮史先生

### 診療時間

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後 15:00~18:00	○	○	○	○	○	△

※土曜日のみ9:00~13:00  
※休診…土曜日午後、日曜日、祝祭日

JR東城駅の近くにある当院は、専門領域の消化器を中心とした内科の診療所です。小児の方への対応も出来る範囲で行っています。また健診やドックにも力を入れており、多くの健康保険組合の委託を受けています。診療放射線技師・臨床検査技師・管理栄養士・保健師・健康運動指導士・糖尿病療養指導士・消化器内視鏡技師・人間ドックアドバイザーなどの資格を有するスタッフがおり、様々な検査や健康のサポートを行っております。

## 眼科外来からのお知らせ

4月4日(月)から診察時間に変更となります。詳しくは眼科外来までお願いします。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
診察時間 9:30~16:00	診察時間 10:00~16:00	診察時間 9:30~16:00	診察時間 10:00~16:00	診察時間 10:00~16:00
診察受付時間 8:00~11:00 13:30~14:30	診察受付時間 8:00~11:00 13:30~14:30	診察受付時間 8:00~11:00 13:30~14:30	診察受付時間 8:00~11:00 13:30~14:30	診察受付時間 8:00~11:00 13:30~14:30



# 花粉症のおはなし



花粉症の人にはつらい季節がやってきました。現在、日本人の約25%が花粉症だといわれています。花粉症とは、スギ・ヒノキなどの花粉が原因となって、くしゃみ・鼻水・鼻づまりなどの症状を起こす病気です。目のかゆみや充血など目の症状を伴う場合も多く、ここ庄原（広島）では例年2月中旬くらいからゴールデンウィークまで続きます。

花粉症の症状はとてもつらく、日常生活に必要な集中力や判断力を低下させ、仕事や家事などにも大きな影響を及ぼします。なぜかという、鼻水や鼻づまりなどにより寝付きが悪くなる、息苦しく夜中に起きてしまうなどで十分な睡眠が得られなかったり、目のかゆみや鼻水によりイライラして集中力がうまく保てないためです。普段通りの日常生活を取り戻すために、しっかりと治療をして症状を抑えましょう。

## 花粉症の治療



まず一つは、薬物療法（抗ヒスタミン薬など）です。以前は「アレルギーの薬＝眠くなる」といったイメージがありましたが、最近は改良が進み眠気を抑えて効果を上げるような薬が多数開発されています。抗ヒスタミン薬以外の内服薬や点鼻薬もあります。症状が悪化すると薬が効きにくくなるため、毎年の症状が重症になる方は花粉が飛び始める前、または症状が軽いときから薬の使用を始めるのをおすすめします。

その他、手術療法もあり、症状・体質にあった治療法を行うこととなります。また最近、テレビや新聞などで舌下免疫療法が話題になっています。

耳鼻咽喉科  
尾野 里奈  
ONO RINA

### 略歴

平成16年3月  
広島大学医学部卒業

平成24年4月  
庄原赤十字病院 耳鼻咽喉科 着任



## 舌下免疫療法って？



アレルギーの原因となる花粉エキスを、あえて口の中に投与することで、体を慣れさせアレルギー反応を減少させる治療法です。うすい濃度から徐々に服用量を上げていって、ある一定の濃度になったらそれを毎日、3年以上続けます。効果が出るまで時間がかかりますが、多くの患者さんで症状が軽くなったり薬の量を減らせたと報告されています。ただしこの治療は全員が受けられるわけではありませんので、詳しくは専門医にご相談ください。

## 自分でできる花粉症対策

大切なのはできるだけ花粉を体内に入れないことです。そのためには・・・

- ①花粉情報をチェックする
- ②花粉の多い時の外出はなるべく控えめに
- ③外出時は完全防備（メガネ・マスク・帽子などをつけましょう）
- ④家に帰ったら衣服や髪をよく払って玄関でシャットアウト。そして洗顔やうがいで花粉を洗い流しましょう。
- ⑤ドア・窓を閉める。換気するときは窓は小さく開け、短時間に。
- ⑥掃除はこまめにしましょう。特に窓際は念入りに。
- ⑦布団や洗濯物を外に干さない。

